

質問に対する回答書62
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書26-20 標識工 図面④-07_東埼玉道路(第2期迂回路) 設計図33/39	注意喚起施設Aについて、電柱径をご教示ください。	電柱径は、約φ300mmを想定しています。
2	特記仕様書26-46-5 数量の検測 数量計算書003-2_真空圧密工法 各工区 数量計算書のP8、16、25、34、42、50、 59、69、70、79/79	数量の検測について、「地表面変位杭の観測は1側線当たりを1回、それ以外は計測データを採取した回数を1回とする。」と記載されており、間隙水圧計と深層沈下計測はそれぞれ1孔あたり6点のデータを回収できると思われます。数量計算書より、各層(Yuc層、Yus層、YLc1層、Ylcs層、YLc2層、Nac層)のデータ回収をそれぞれ1回とし日数を計上していると思われませんが、1孔あたり6点のデータを回収するとした場合、合計6,660回ではなく1,110回となります。データ回収のカウント方法をご教示ください。	特記仕様書26-46-5に記載のとおり、地表面変位杭の観測は1測線当たり1回、それ以外の計測については計測データを採取した回数が1回となるため、合計6,660回となります。
3	特記仕様書26-33 基礎杭工	掘進長が45mを超える杭について、添加剤使用係数は0.03と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は正しい係数をご教示ください。	掘進長が45mを超える杭については、過去の実績を元に積算しており、添加材使用係数は0.03を想定していますが、施工については貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	特記仕様書26-33 基礎杭工	上杭、中杭、下杭と板厚が違う仕様について、鋼管板厚補正係数を板厚ごとに変更して積算していると考えてよろしいでしょうか。異なる場合は正しい積算方法をご教示ください。	板厚の異なる鋼管の溶接について、現場溶接の場合は鋼管板厚補正係数を板厚ごとに変更して積算を行いますが、工場溶接の場合は鋼管板厚補正係数を計上しておりません。
5	特記仕様書26-33 基礎杭工	鋼管板厚が20mm以上の場合、鋼管板厚補正係数は1.82と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は正しい係数をご教示ください。	鋼管板厚が20mm以上の場合、過去の実績を元に積算しており、鋼管板厚補正係数については1.82を想定していますが、施工については貴社の施工計画に基づきお考えください。
6	特記仕様書26-29-3 材料	防草シートA、Bは見積単価を採用していると考えてよろしいでしょうか。	防草シートA、Bについては物価資料の単価を想定しております。